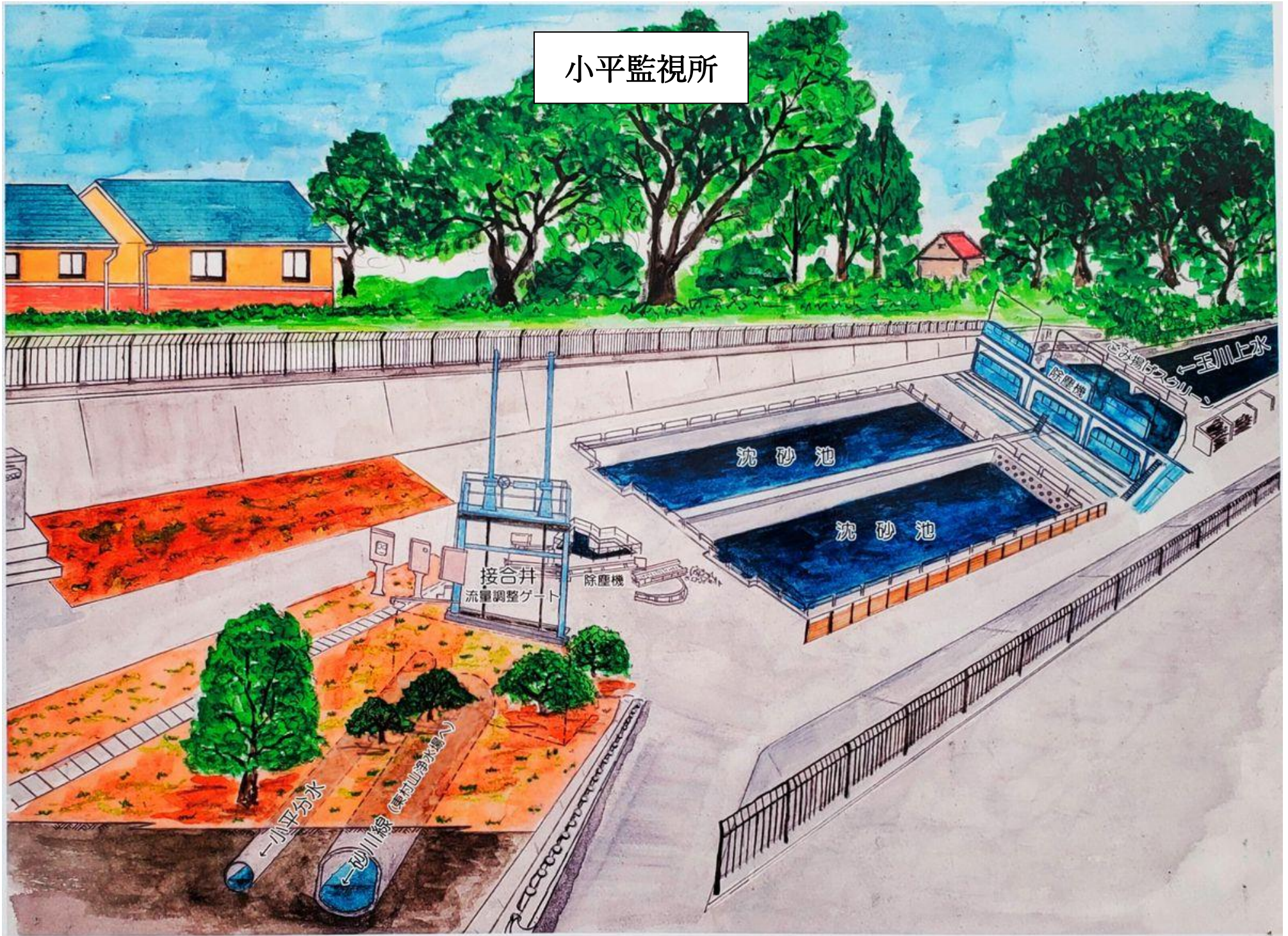


小平監視所



小平監視所

小平監視所は、昭和38年9月から運用しています。

上流約12キロメートルの羽村取水所で取水した多摩川の水を東村山浄水場へ送るため、玉川上水(注1)の野火止用水と小平分水の分水口を改修して沈砂池(注2)などを備えた小平監視所が造られました。

この施設の役割は、上流から流れてくる落ち葉や枯れ枝などを除塵機(注3)で取り除き、また、沈砂池で砂を沈めてゴミや砂のない水をコンクリート管(名称：砂川線導水路、延長：約4キロメートル、内側の大きさ：2.3メートル、最大導水量毎秒8.0立方メートル)を利用して東村山浄水場へ送ることです。

また、昼夜水量監視や水質監視を行っています。

(注1)

完成 承応3年(1654年)

総延長 約43キロメートル

羽村取水口～小平監視所約12キロメートル

小平監視所～四谷大木戸(新宿御苑)約31キロメートル

(小平～浅間橋18キロメートル、浅間橋～大木戸13キロメートル)

平成15年に小平監視所除く開渠部分約30.5キロメートル(面積47.8ヘクタール)が国の史跡に指定された。

(注2)

河川水のなかには細かな粒子の土が含まれているが、その粒子を上流から下流へ遅い速度で流し、重力により細かな粒子の土を沈降させる池です。

構造 長さ60メートル 幅7メートル 深さ4メートル

池数 2池

有効容量 1池、1630立方メートル

流速 流量が毎秒8.0立方メートルの時は毎秒0.15メートル

流量が毎秒1.0立方メートルの時は毎秒0.02メートル

(注3)

沈砂池の上流と下流に2箇所あり、落ち葉やゴミを自動で取り除きます。